



おくさづ
奥佐津
ふるさとガイド



おくさずガイドマップ
Okusazu Guide Map

わたしたちのふるさと奥佐津にはたくさんの「たからもの」があります。この「たからもの」は私たちの祖先が大事に守り継いできたものばかりです。私たちもその「たからもの」をたくさん見つけて守り継いでいきましょう。



凡例

 黄色の道…広い道
 (国・県道など)

 白色の道…少し狭い道
 (県・町道など)

 灰色の道…細い道
 (林道・登山道など)

おくさづガイドマップ

Okusazu Guide Map

九斗・米地・丹生地



きゅうただしんじゅ しゃち
旧多田神社 社地

ただしんじゅ
多田神社
F

ただ いしき ばあと
多田石切り場跡

香住トンネル

こうとくじ
丹幸徳寺
地蔵堂

にゅうじ
丹生地

せ た ば な じ ょ う し
勢多端城跡
(銅鑄出土地)

いせき
ヘタバナ遺跡

さんざがわ
山座川

さ
さ
川
が
わ

かんのうらやま
神ノ浦山



九斗 いちょうの太木
幹周り3.3m高さ22mのご神木

く と
九斗

ひめづかごふん
姫塚古墳

せきぞうぶつ
石造仏

ひょうずしんじゅ
兵主神社
いちょうの太木

まんとう ひ ふ まつり
万灯の火振り祭

しきないしゃ さ づしんじゅ
式内社 佐受神社

米地
川がわ

せきの地蔵さん



しきないしゃ さ づしんじゅ
米地 式内社 佐受神社



丹生地 多田石切り場跡 幸徳寺の石垣を積むために
ここから石を切り出しました。



かんのうらやま
神ノ浦山
山頂には宝篋印塔などの石造物があります。
昔から目の神様の山として慕われてきました。

おくさづガイドマップ

Okusazu Guide Map

西下岡・下岡
上岡・隼人



はやと ふ どうぞん 隼人 不動尊
毎年7月に不動尊祭があります。昔、戦争に行った人が無事に帰ってくることを願ってお参りしていました。

こうげんいせき
ミノフ高原遺跡
ふどうぞん
不動尊
なしえん
ミノフ梨園

はやとこうざんあと
隼人鉦山跡

くにとうろくぶんかざい もりたけじゅうたく
国登録文化財森田家住宅
がやの木・ナギの木
いづ たにてんじんじゃ
井津の谷天神社

はやと
隼人

ひょうずじんじゃ
兵主神社
にじゅうろくたいがつばんひ
二十六体仏板碑

にししもおか
西下岡

あさかやまごふん
安坂山古墳

わかみやじんじゃ
若宮神社
さいこうじ
西光寺

にゅうじ
丹生地

しんとくじ
真徳寺

石造仙

奥佐津小学校
奥佐津幼稚園

かみおか
上岡

あたごじんじゃ
愛宕神社

電戸神社

こもり堂

みはしらじんじゃ
三柱神社

地蔵堂

奥佐津地区
公民館

みはしらじんじゃ
三柱神社

さ づ がわ
川

さんざがわ
山盛川

は ぶ がわ
川

こうざんがわ
弘仙川



しもおか おくやま ごふん 約1400年前の昔の人の墓です。少し壊れていますが石積みが残っています。
下岡 奥山古墳



かみおか しんとくじ
上岡 真徳寺

おくやまごふん
奥山古墳



にししもおか さいこうじ
西下岡 西光寺

おくさづガイドマップ Okusazu Guide Map

畑・大梶・三川
土生・本見塚

畑・平家伝承の旧跡

壇ノ浦の戦(1185年)で敗れた平家の人たちが移り住んだと言われています。



みかわさんざおうだいこんげんどう
三川 三川山蔵王大権現堂

三川山蔵王大権現は役の行者の開山と言われ、毎年5月3日の三川権現大祭には多くの参拝者が訪れます。



はた はたしらじんじゃ
土生 八柱神社

もとみづか
本見塚

おおくらじんじゃ
大倉神社
ほうきょういんどう
宝篋印塔

おくさづしょうがっこう
奥佐津小学校
つちもとぶんこうあと
土本分校跡

ばとうかんのん
馬頭観音
こうせんこうざんあと
弘仙鉦山跡

弘仙
川

はくさんじんじゃ
白山神社

かやの
萱野



もとみづか つばき
本見塚 椿の太木
弘仙鉦山が発見された
ときの目印になったと
言われています。

へいけでんしょう きゅうせき
平家伝承の旧跡

やたて まつ
矢立の松

わかやまこうざんあと
若山鉦山跡

わかやま
若山林道

さ づ 川
佐津川

みはしらじんじゃ
三柱神社

おおかじ
大梶

三川たたら跡

せきりゅうじそう
石龍地藏

おくさづしょうがっこう
奥佐津小学校
きゅう みかわぶんこう
(旧)三川分校

みかわ
三川

式内社 美伊神社

みかわごんげん
三川権現
みかわさんみろくじ
三川山弥勒寺
しきないしゃ みいじんじゃ



おおかじ みはしらじんじゃ
大梶 三柱神社



はた ひじりつか
畑 聖塚
昔、畑に住んでいた徳の
高い僧侶の墓

たいせきひ
大石碑

ひじりつか
聖塚

さほうえんてい
砂防堰堤

ナンジャモンジャの木

はた
畑

大谷

奥佐津小唄

作詞作曲 黒田 高 (奥佐津小学校12代校長)

私たちの奥佐津を歌いこんだ素朴な郷土歌
みんなで伝え継いでいきましょう

1. 佐津の駅 おり テクシで
行けば 九斗右 米地左
丹生地村道 奥深い 奥深い



米地佐受神社北約400m から米地・九斗方面を望む

2. トロのトロ道 トロトロと
下岡すぎりゃ 上岡の
高い学校の屋根ひかる
屋根ひかる



今から約100年前に佐津
川の改修がおこなわれました。
その際にトロコを使って
土砂を運搬していました。



西下岡墓地から上岡方面を望む

3. 隼人橋こえ 畑をすぎ
山坂のぼる 4キロ半
三川権現 鎮座ます 鎮座ます



畑大石碑北約700m から畑方面を望む

4. 土生の坂こえ本見塚
ここは昔の旅の宿
京のもどりがなつかしや なつかしや



旧本見塚村

三川山魅カマップ

見守るように奥佐津の南側に鎮座する三川山
昔から、私たちの生活の一部として、また信仰の対象として大切にされてきました。

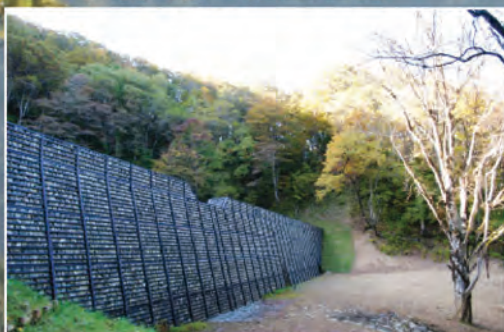
三川山頂
標高887.79m
(水山三等三角点)

三川山メモ

頂上には多くのアンテナがあります。このアンテナはテレビなどの中継施設です。その南側の標高917mのところには、また別の多くのアンテナ施設があります。両方とも私たちの生活を支える大切な施設です。



西日本最大級の治山堰堤



平成21年完成

三川山を彩る花たち



キクザキイチゲ



エンレイソウ



カタクリ



トキワイカリグサ



トキワイカリソウ



イカリソウ



アセビ



ヒメレンゲ



マムシグサ



マンサク



ヤマドリソウ

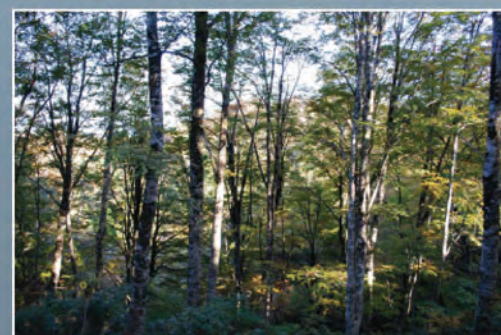
しゃくなげコース



しゃくなげ

急傾斜
気をつけて!!

奥の院コース



ブナ林

急傾斜
気をつけて!!

あなたは見える？奥の院



ハナイカダ



チヤラメラソウ



アズマイチゲ



ニリンソウ

興佐津の歴史

おくさづ のこ そせん く
～興佐津に残る祖先の暮らし～

私たちの興佐津には大昔から人々が暮らしてきました。
昔の人達が暮らしたあとを訪ねてみましょう。

あさかやまこふん しもおか ちょうしていぶんがざい
安坂山古墳 [下岡] (町指定文化財)

佐津川左岸の山を少し上がったところにあります。現在では入り口が埋まっていますが、天井の石が落ちており、そのすきまから内部を覗くことができます。



安坂山古墳

こうせんこうざん もとみづか
弘仙鉾山 [本見塚]

弘仙鉾山は1620年頃に発見され、もっとも盛んなときには家が1000軒近くもあったと伝えられています。興佐津にはその他にも畑と土生にまたがる若山鉄山、隼人、三川にも鉾山がありました。



本見塚馬頭観音

弘仙鉾山のある谷の入り口にあります。昔、鉾山の掘出に使われた馬を供養するために祀られました。

うつ か
学校の移り変わり

興佐津での最初の小学校は上岡の真徳寺におかれた上岡小学校です。その他にも丹生地、畑、三川、土生、本見塚にもおかれたましたが、丹生地と畑は興佐津小学校に、三川には三川分校、土生、本見塚には土本分校が置かれました。しかしながら三川分校は2009年、土本分校は1965年に閉校し興佐津小学校に統合されました。



興佐津小学校旧校舎



三川分校



土本分校

時代	主な出来事
古代	隼人 ミノフ高原遺跡 (縄文時代) 安坂山古墳、奥山古墳 (古墳時代)
中世	770 三川山蔵王権現が開山される
近世	1603 徳川家康が江戸幕府を開く 1620年頃 本見塚の弘仙鉾山が発見される 1800年頃 土生の若山鉄山が発見される 人口 1,234人 1832 土石流が発生し権現堂、弥勒寺などが流失
近代	1867 明治維新 1875 上岡真徳寺に上岡小学校を開く 1879 校舎を新築し、育秀小学校と改称 1880 三川、畑、丹生地、本見塚、土生に支校を置く 1887 育秀簡易小学校と改称。畑、丹生地も通学区域となる。 1889 10ヶ村が集まり興佐津村となる。 1892 育秀尋常小学校と改称 1893 興佐津尋常小学校と改称 1898 米地、九斗を通学区域に加える。洪水災害発生 1902 興佐津小学校三川分教場を設置 1905 興佐津尋常高等小学校と改称し、土本分教場を設置 人口 2,370人 1927 校舎を現在地に新築して移転 1941 興佐津国民学校と改称、太平洋戦争開戦 1945 太平洋戦争終戦 1947 興佐津小学校と改称 1955 興佐津村が合併して香住町となる。 1959 校区変更により米地区は佐津小学校に編入 1961 (旧) 土生トンネル開通 1965 興佐津小学校土本分校閉校 1966 隼人ミノフ高原に梨園地造成 1968 旧本見塚村閉村 1976 興佐津小学校三川分校休校 1977 下岡香住線が開通 1993 (新) 土生トンネル開通 1996 土生バイパス開通 2005 合併して香美町となる。地域高規格道「香住道路」開通 人口 945人 2009 興佐津小学校三川分校閉校



旧本見塚村閉村の頃

An aerial photograph of a lush green forested area. A winding river flows through the landscape, and a road or path is visible. The terrain is hilly and covered in dense vegetation.

学校名

学 年

年 名前

—2009年11月発行—

編集/奥佐津ふるさと教育応援団

発行/香美町教育委員会、学校支援地域本部香美町実行委員会、香美町ふるさと教育推進プロジェクト委員会